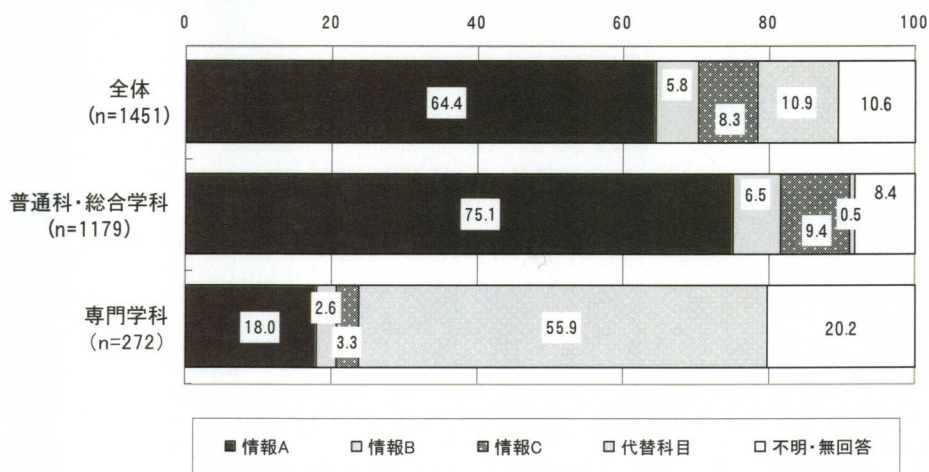


# 教科「情報」実態調査結果(教育の状況)

- 高等学校等の教科「情報」では、多くの学校で情報A(「情報活用の実践力」に重点が置かれている科目)が履修されており、普通科・総合学科では約3/4が情報Aを選択している。
- 普通科・総合学科では、情報B(「情報の科学的な理解」に重点が置かれている科目)及び情報C(「情報社会に参画する態度」に重点が置かれた科目)を選択している学校は多くないが、どちらかというとも情報Cの方が多く選択されている。
- 専門学科では、代替科目(専門科目の情報など)の履修に代えられている学校が過半数を占めるが、教科「情報」の履修数は、普通科・総合学科同様、情報A、情報C、情報Bの順で多い。

○1年次での教科「情報」の科目の選択状況  
(非分割履修のみ)



## 情報A

目標: コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得させるとともに、情報を主体的に活用しようとする態度を育てる。

- 内容: ① 情報を活用するための工夫と情報機器  
② 情報の収集・発信と情報機器の活用  
③ 情報の統合的な処理とコンピュータの活用  
④ 情報機器の発達と生活の変化

## 情報B

目標: コンピュータにおける情報の表し方や処理の仕組み、情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解させ、問題解決においてコンピュータを効果的に活用するための科学的な考え方や方法を習得させる。

- 内容: ① 問題解決とコンピュータの活用  
② コンピュータの仕組みと働き  
③ 問題のモデル化とコンピュータを活用した解  
④ 情報社会を支える情報技術

## 情報C

目標: 情報のデジタル化や情報通信ネットワークの特性を理解させ、表現やコミュニケーションにおいてコンピュータなどを効果的に活用する能力を養うとともに、情報化の進展が社会に及ぼす影響を理解させ、情報社会に参加する上での望ましい態度を育てる。

- 内容: ① 情報のデジタル化  
② 情報通信ネットワークとコミュニケーション  
③ 情報の収集・発信と個人の責任  
④ 情報化の進展と社会への影響